

### 大工基礎講座

大工の基本的な技術・技能を本格的に学ぶ講座です。1月から4月にかけて開催します。①道具編：夜4日、日曜1日、受講料1万5千円、②継手・墨つけ編：夜4日、日曜1日：1万8千円③在来木造軸組編：夜8日、日曜2日、受講料3万円申し込みは所属支部へ



### 住まいのネットワークとは

住まいのネットワークは規約も会費もないゆるやかな組織で、この情報誌を読むことが会員の資格です。学習・交流を通じ、中小業者の協同化を目指しています。

発行所：埼玉土建一般労働組合  
さいたま市南区鹿手袋6-18-12  
電話 048-863-6293

## 住宅事業者向け 住宅ローン 基礎知識講習会

住宅生産団体連合会が主催する住宅ローンの基礎講習会。工務店など事業者向け。参加者にはテキストとパソコンでローン計画が組める「ローン返済ソフト」が無料で配られる。資金計画を助言ができる知識を学ぼう。

申し込み：同連合会住宅ローン講習会事務局TEL 03-3592-6441  
開催日時

- ①1月12日 熊谷市マウトン熊谷
  - ②1月29日 大宮ソニック604
- ※開催時間は13:30~16:30

## 耐震診断、自治体の5割が実施 遅れきわだつ埼玉県

国交省調査

国土交通省が、耐震診断・改修補助制度の整備状況(10月1日時点)をまとめた。全国1840自治体中、戸建住宅の耐震診断補助が965区市町村52・4%(マンション181自治体9・8%)、戸建ての耐震改修補助が497自治体27%(マンション69自治体3・8%)と、戸建住宅への導入がすすんできている。都道府県別では、戸建ての耐震診断補助導入率100%

は震災経験や危機感の強い北陸・東海・近畿の13県、首都圏では、神奈川86%、東京63%に比べ埼玉は13市2町



中越地震で被災した建物

(20%)と大きく遅れている。県内で耐震改修助成があるのは8市2町。補助金額は10万円から50万円まで様々だ。

共同住宅についての耐震改修助成は、朝霞市と志木市が1戸30万円を戸数分助成する制度をつくっている。さいたま市の助成制度予算は560万円で、16戸分にしか過ぎない。耐震対策として、実効性のある助成制度の創設を求める運動が必要になっている。

## 8市2町が耐震改修助成 耐震改修特別控除適用は3市のみ

耐震リフォーム減税制度が始まった。住宅耐震工事費用の10%、最高20万円を所得から控除できる。①国の制度を活用した耐震改修助成制度か、

自治体独自の耐震改修助成制度があること、②自治体の長から「住宅耐震改修証明書」が出されることが条件となっている。埼玉県ではこの条件を満たしているのは、さいたま市、越谷市、朝霞市のみ。耐震改修助成制度が

あっても「住宅耐震改修証明書」が発効されないという控除をうけることができない。早急に自治体に申し入れを行い、控除を受けられるよう運動する必要がある。自治体に耐震補強助成制度がなければ、住宅耐震改修特別控除が使えないというのは、税の公平性からおかしな話だ。

## 経 目 住まいのリフォーム博

100社以上の関連企業が参加し様々の展示を行う。リフォーム事例の展示コーナーもある。入場は無料。仲間とツアーを組むなどして、ぜひ見学を。

- 【イベント内容】
- ◇福祉・生活支援用具体験コーナー
- ◆リフォームで家族のコミュニケーション
- ◇家族がふれあうガーデニング
- ◆手作りホビーの世界
- 【日時】12月14~17日
- 【場所】東京ビックサイト西1・2ホール

耐震改修促進計画はすべての都道府県が来年3月末までに策定する見通しだが、市区町村段階では5・4%にすぎない。

# 高齢者 バリアフリーニーズ高い

内閣府がまとめた「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」

によると、住んでいる住宅で困ったことがあるが4割を超えた。老



朽化が15・8%でトップ、次いで「高齢者には使いにくい」が10・8%を占めた。過去5年間に住宅をリフォームした経験のある人は4割で、内訳は外壁・屋根補修が25・4%、浴槽交換が7・8%、コンロ交換が7・4%と住宅の外側と水回りが主となっている。きっかけは、自ら必要性を感じたが7割だったが、訪問業者の勧誘が5・3%もあった。一方、

リフォーム経験者の割合が相見積をとらずに発注しており、そこに悪質業者の入り込むスキがあるのだろう。身体が虚弱化したときどうするかの間いでは、「そのまま住み続けたい」が37・9%とトップで、「改良して住みやすくする」が24・9%もあった。バリアフリー・リフォームのニーズの高さを示す結果となった。団塊の世代のリフォーム需要が見込まれる時期がやってくる。このニーズにこたえられることが必要だ。

# めざせ！2級建築士 二級建築士受検準備講座

昨年の耐震偽装事件を契機に建築士法が変わろうとしています。すでに一級建築士の受験資格が厳しくなりました。二級建築士にもその流れがくるかもしれません。住宅建築において一番ポピュラーで信頼される資格なので必ず仕事に役立ちます。全国平均を超える合格率と組合ならではの格安の受講料です。



**【講習内容】**講習日：1月10日(水)～  
毎週月曜・水曜18:30～21:00  
計画9回、法規12回、構造17回、施工9回、その他補講3回、模試4回、製図講座5回  
**【会場】**技術研修センター  
**【受講料】**160,000円(テキスト代含む)  
**【定員】**30名  
**【申し込み】**受講料と写真2枚を添えて各支部へ  
**【お問い合わせ】**技術研修センターまで  
TEL048-661-8139

## 「地域オンリー」をめぐそう

ローコスト競争やフランチャイズ加盟で生き残る道はあるのでしょうか？無いとはいいませんが、ノウハウも資金もなく、ただ助けを求めてのローコストやFC加盟では勝ち残ることは難しいと思います。それならスキマをぬって『地域オンリー』をめざそうではありませんか。きめの細かい営業とサービス世話やき活動は町で育ったみなさんしか出来ないのです。

## 我が社の顧客囲い込み

顧客の囲い込みについて考えて下さい。仮に200軒のお得意意があるとしても、そのうち半分は出た入りつたりしますが、100軒は必ず自分達の所にくるお客様だとします。1軒当たりの工事量を考えると百年の間に100回は建替え、その間

## 私の工務店経営 「工務店ニュースで顧客の囲い込みを」



北新建設(株)代表 佐藤良治  
(前千葉土建中央執行委員長)

自らの会社経営を語る佐藤社長

約800部を顧客に発送し、会社の周辺に3500部ポストイングしています。自分の言葉で書き、少し読んでみようかという紙面を心がけています。

顧客管理も重要です。当社では顧客カードが財産です。このカードで「誰が電話を受け、いつ何をしたか」がわかります。更に、これと連動して地図と図面、見積書などが管理されています。

## やっぱり日常が大切

今の時代、発展の展望を持つことは大変ですが、元気ががんばっているところはたくさんあります。まじめな態度で実現可能なプランを提案すれば、必ずお客様は納得してくれます。やっぱり日常的な仕事、現場、くちコミを大切に、自らを高める努力をしてがんばってください。